

芦安ファンクラブ通信

南アルプス地域の自然を愛するすべての人達に対して、地域の人々との交流を通じた南アルプスの環境保全及び適正利用に関する事業を行い、もって、南アルプス市芦安地域の活性化に寄与する。

～芦安ファンクラブの理念～

特定非営利活動法人芦安ファンクラブ 事務局 南アルプス市芦安芦倉 1578
TEL 090-4135-3193 FAX 055-288-2722 HP <http://ashiyasu.com> メール mail@ashiyasu.com

今年もやってきた 山シーズン！

芦安ファンクラブ 清水 毅

待ちに待った夏山シーズンがやってきました。

6月24日(土)、広河原に於いて「2023 南アルプス開山祭」が行われました。

小中学生による、ここならではの「北岳の歌」の澄んだ歌声、2年ぶりに3人揃った山の案内人の蔓払いで、山が開きました！

例年行われていた「夜叉神太鼓」の演奏もなく、「甲斐ヶ峰庵」のそばも無くなり、少し寂しくもあるけれど、午後、広河原園地やインフォメーションセンターで行われた自然観察・学習会が定着しつつあるようです。

古い「広河原山荘」は今年には姿を消す予定とか。山行きスタート時には厳しく励まされ、下りてきた時にはほっとして靴の紐をほどいたものです。「広河原山荘」ありがとう！

山開き早々、小屋は予約がいっぱい、お山は登山客の花が満開とか。長い様で短い今年の夏山シーズンの無事を祈ります。



昔の樵衆が大変な苦勞をして木を切り出した様子を模型で説明



広河原の自然を基礎から学び、現地で体感



山の案内人(有野産業土木委員長・小澤・入倉)の3氏



斧は腰を入れないと伐れないよ

南アルプス開山祭・広河原園地自然観察会に参加して / 芦安小中学校

開山祭のあと、芦安ファンクラブメンバーの案内で、広河原園地にて自然観察会を行ない、参加した生徒さんから感想を頂きました。

山にのぼってカントウマムシグサとマムシグサのちがいがわかってよかったです。昔川にきた木をながすのをみれて楽しかったです。タイミンガサとヤブレガサをみつけて、ちがいがわかってよかったです。らいねんもこういった自然たいけんがしたいです。ぼくも草や花などの名前がわかったりちがいをわかるようになりたいです。

芦安小4年 しょざわ るい

初めて知ったヤブレガサやギンランを知りました。最後に話した海底プレートの話では、すごくきょうみをもちました。ありがとうございました。2Fのじっけんもけいでは、木を流すと川がながれないことが分かりました。この今いった二つがおもしろかったです。ありがとうございました。見つけたものは色いろなしよく物です。かいざんさいでは、本当にありがとうございました。またいろなしよく物をおしえてくださいこれからもおねがいます。

芦安小4年 飯島 陸斗

山を登るとき、しよくぶつのことや、木のしゆるいをおしえてくれてありがとうございます。あと、ふつうのマムシグサだと思ったら、カントウマムシグサとせつめいしてくれたので、びっくりしました。はしをわたって、くもりだからあんまりみえなかったけど、きただけの下をみれてよかったです。こんどのぼるときには、きただけがぜんぶみたいです。しぜんのことをいっぱいおしえてくれてありがとうございます。

芦安小4年 川手 しょん

教えてもらった中からヤブニンジンのがきになりました。なぜきになったのかというと、ニンジンとついているのでたべられるのかなーと思いました。でもたべられないことをしって、ニンジンとにているけどたべられないにんじんがあるんだーと思いました。

芦安小5年 新津 春翔

私は、午後の活動で、エゾサカネラン、ヤブニンジン、とうぼくこうしんなど、いろいろな植物のことを知りました。マムシグサには、オスとメスがあるということも知れてよかったです。丸太の模型が手作りだときいて、とてもびっくりしてすごーと思いました。

芦安小5年 栗原 りん

教えていただいた植物の中で特に気になった物はマムシグサです。植物もわなを使い虫をつかまえる、という事はとてもおどろきました。これから登る北岳ではさらに植物を見つけたいです。本当に教えてくださりありがとうございました。

芦安小5年 疋田 たく

きょねんいったことがあったんですけど、きょねんとはまたちがうことをおしえていただいて、すごくべんきょうになりました。「カツラの木」がすごくはくりよぐがあつてびっくりしました。らいねんも、いけたらよろしくおねがいます。

芦安小5年 内藤 ころ

カツラ科やハリギリ、シナノキどれも大きくて私はびっくりしました。木が大きいということは広河原はとっても自然がゆたかとうことですね！私は去年もやったのですが、またまた「すごいな〜」と心から思いました。そして広河原にはたくさん木があり、私は一番カツラ科が好きです！

芦安小5年 中澤 来愛

午後の自然学習では、いろいろなことが分かってとてもよかったです。中にはもともと分かっていた花や草などもあったけれどそれでも1つか2つなので知らなかった物のほうがとても多かったです。すべてはおぼえきれないけれど1つ～5つはおぼえています。中でも心にのこったのは「カントウマムシグサ」です。次に広河原に行く時は、もっとまなびたいです。ありがとうございました。

芦安小5年 田口 碧一

カントウマムシグサに入ってってしまった虫さんの結末のお話はおもしろく、勉強になりました！7月の初めに北岳登山に行くので、その前の安全祈願になりました。ファンクラブの方の「木の種子が他の木について育っていくと、根がむきだしの状態になる。」や、「このボロボロの木は鹿が食料がなくてかじったんだよ。」など、興味深いお話をたくさん知れて楽しかったです！北岳登山の際もどうぞよろしくおねがいします。

芦安小5年 根本 颯月

オレンジ色の花をピントを合わせて撮るのを物凄く苦労しました。かなり大きい石があって、それが氷河期から生き残っていたことに驚いた。山の中には色々な花、木、草、苔があってとても綺麗でした。先生の話の中で一番印象に残ったのはブナの木の話です。

芦安中1年 笠井 優

自然学習で山や花、自然の美しさや楽しさ、一緒になることでより楽しくできることが学べた。今回の学習は3人の小3年生が加わり、にぎやかになり、さらに楽しく学ぶことができた。また小学生のお手本になる行動もできてよかったです。

芦安中1年 金川 小次郎

カレーがおいしかったです。生えていた花とか葉がかわいかったです。自然はすごい!!虫が多くて、ビビりましたが、緑にいやされました。

芦安中3年 岡崎 葵羽

ウォルターウエストンさんの話や、名取運一さんのお話などをくわしく話してくれてありがとうございました。ほかに、きょうな花の名前や植物の名前、なぜこういう名前になったのかも、ていねいにおしえてくれたので、よく分かってよかったです。1番自分の中で楽しかったのは、オリジナルの写真をとる時です。さいしょはピントがあわなくてぐだぐだしていたけど、光があたっている所を見つけたり、ピントがあうようにうまくちょうせいしているうちにどんどんきょうみをもつことができました。自分の中で、好きになったお花があります。それはヤブニンジンです。小さなお花がかわいらしくて好きになりました。

芦安小6年 小林 花栄

たくさんの種類の草花があって全部はおぼえきれなかったけど、前よりたくさんの草花を知ることができました。特に写真をとった花に興味が出ました。一番最初の川のもけいを見てこう水になったら気をつけようと思いました。

芦安小6年 横谷 梨緒

今回の自然学習で学んだことは、広河原園地にある植物などをたくさん知ったことです。とくに木の名前や花の名前の由来について分かりました。信州の信濃は「シナノキ」から名付けられ、エゾサカネランのエゾは北海道から、サカネはさかさまから、名付けられたことが分かりました。その他、1年間に3～4mm 上昇していることをはじめて知りました。楽しく学べてよかったです。

芦安中1年 原田 暖乃香

自然学習を通して、すごく良い体験をしたと思っている。特に一生懸命練習してきた北岳の歌と雪山賛歌を開山祭に発表できてよかったです。そして山の中に入っているいろいろな教えてもらってよかったです。自分のとった写真も発表できてよかったです。少しつかれたけど楽しい思い出になりました。

芦安中3年 平栗 慶人

松尾峠登山道整備(2023/4/16)

芦安ファンクラブ 西村 正人

昨年5月の整備に引き続き、さらに安全性を高めるために実施しました。

朝8:00 芦安ファンクラブの事務所に清水会長はじめ総勢9名が集合、道具を積み込み出陣。

車に分乗して夜叉神峠のゲートを通過し、夜叉神トンネル入口脇から、道具を担いで登山開始。

急勾配のつづら折りを上り切り、昨年、土砂崩れを整備した箇所に来てみたら、全く道が崩落で無くなっていました。

少し登った所で、昨年も崩落を確認し手付かずだった箇所に、倒木を利用して橋を架ける作業を行ないました。丸太3本を杭で固定し、番線をシノを使ってしっかりと締め付けました。



道が無くなってる



再度整備し直しを行い、気持ちよく通れる道ができました。ここは、毎年の作業が必要かもしれません。



ここから上に少し登ると松尾峠、カイワカガミの群生地です。つぼみがいくつか膨らんでいました。



整備作業はここから引き返し、急斜面のつづら折りを下りながら行なっていました。
安全に登りやすい道になりました。



登山道整備を終えたあと、夜叉神峠駐車場下のゴミ拾いを行ないました。

古い空き缶・空き瓶やドラム缶の残骸などが、倒木の根元からたくさん出てきました。



木の根っこにたくさんのゴミ



登りやすい道の完成!!!

継続的な登山道整備の必要性とともに、ゴミは捨てないことの大切さをあらためて感じた一日でした。



16:30 後片付け終了、お疲れ様でした。

第69回登山教室

「北岳の広大なお花畑めぐりへ」(2023/7/22-24) に参加して

工藤 重治さん(静岡県島田市)

7/22 晴

うっかり芦安山岳館前で待つも誰も居ない、そもそも隣の事務所が受け付けでした。

若いお兄さん、お姉さん方が一杯、いやこれ知られざる第二の高峰北岳って過去の話ではないのか、隣の仙丈はエライことになってるんじゃないのか？などとぼやきながら、でも久々の登山なのでペースもリズムも全くつかめぬまま、兎にも角にも転ばぬように歩いて御池小屋に着いた。同行の花に詳しい方々のおかげで花の名前が沢山メモできた。明日に続く。

7/23 晴

快晴でスタートしましたが、トラバースで曇り、しかし微風のため快適な中多くの花に出会う。雪渓も小さく見える。涼しい。時々北岳が見え、登攀中のクライマーも目視できました。すごいなあ。

トラバース路では、キタダケソウの実を初めて見ました。前日に続き多くの花が咲いているので多くの名前をメモした。花が一杯でさすがだなあ、たくさんあるなあなどと感動しながらぼちぼち歩き北岳山荘に到着。改築は安全対策だったので、内部の使い勝手は余り変わらず。

中白根山往復

曇りが幸いしたのかライチョウ親子(三羽の雛)に遭遇。親鳥は足輪のついた雌で、雛はせっせと食事をしていました。

この日は、疲れていたせいか、寝しなに枕の横に張り出した梁に頭をぶつきたせいか、あっという間に爆睡。・・・のような気がする。

7/24 晴

快晴、朝焼けの富士山を横に見ながら北岳山頂へ向かう。なかなか着かないが爆睡のせいだろうか調子が良いし、天気は良いし、風も無いしで、仙丈、北、中央、背後の間ノ岳、塩見とよそ見したり振り返ったりしながらも順調に北岳山頂に到着。山頂では360度のパノラマを堪能。オベリスクと甲斐駒がよく見える。遠望は鮮明ではないが見える。こんな良い日に登れて単純にウレシイ。

山頂から下りてタカネマンテマに再会、あと少しで花が咲く状態でした。肩の小屋では最後の一輪のクロユリを見ることができました。それとコーヒーをおごって貰っちゃいました。ごちそうさまでした。美味しかったです。

肩の小屋付近では逃げないイワヒバリ、また小太郎尾根分岐手前では、もう飛べるホシガラス親子計三羽が登山道のすぐ近くで一緒に飛び回りながらの食餌の様子を暫し鑑賞。

小太郎尾根分岐から下は花もハクサンフウコ、マルバダケブキに限られ、視線も登山路を追うだけの下向きになってしまい黙々と下山。気温も上がり御池小屋で昼食をとったが20℃近くあり、下界は暑いのだろうなあと思いつつ、そしてまた黙々と下山。汗がしたたり落ちる頃、広河原着。「北岳ありがとうございました」の言葉が自然と出たのでした。

雨を覚悟のつもりが天候に恵まれ、花の名前も随分と覚え、大展望の北岳山頂、ライチョウ親子にイワヒバリ、それとホシガラス親子にも出会えました。何にも増して望月さん、大矢さんのガイドで無事安全を確保して頂き、北岳堪能に専念できた素晴らしい二泊三日の教室でした。ありがとうございました。



北岳山荘からの朝焼け



タカネマンテマ

中山 明子さん(横浜市)

富士山の右奥に南アルプスの峰々、その最右に北岳、それが常日頃私が丹沢から見る北岳の姿です。

芦安から広河原を通過して北岳山頂を目指す、昨年に続いて2回目の挑戦です。

北岳のお花畑の素晴らしさを前回知り、違う時期にまた違った花を見られたらいいな、と思っていました。

そんな時に目にした登山教室の案内の「広大なお花畑めぐり」の文言に惹きつけられ、自分のために設定されたコースのように思わせられ参加させていただきました。

期待に違わず、いえ、期待以上の北岳でした。

猛暑と言われる今夏、涼しい山の中での時間、快適な山小屋でゆっくり過ごす時間、この山行の三日間すべて天候に恵まれ、特に山頂からの360度のパノラマ、いつまでも眺めていたい光景でした。

広河原の登山口から歩く道沿いにも多くの植物が花を咲かせ、標高が上がるにつれてその植生にも変化があり、どこもかしこも時を得た花たちが目を楽しませてくれます。

花を探し、何の花？と半ば遊びながら歩いていたせいか、登りの大変さも左程感じることはありませんでした。

いわゆる「お花畑」で様々な種類の花たちが今を盛りと精一杯に美しく装って咲いている、どこまでもどこまでもそのお花畑が続くさまに思わず足が止まる、一番のお気に入りを見つけその花を写真に納めやっとな歩き出す、ゆったりとした時間の流れ、本当に至福の時でした。

恐らく、ガイドさんや同行者に呆れられていたでしょうが……。

ガイドの望月さん、大矢さんは単なる登山ガイドというより、北岳、地元山梨に愛着をもって豊富な経験、知識から語ってくださるガイドさん、それがこの登山教室の心地良さではなかったのかと思わされます。

ライチョウに中白峰山で出会え、タカネビランジ、タカネマンテマ、シコタンソウ等を初めて自分で見、安心して歩き通せたことすべて、この企画に携わってくださった方々、ガイドさん、ご一緒させていただいた方々のおかげ、と感謝しています。

ありがとうございました。



芦安小学校夜叉神峠登山(2023/8/27)

ガイド:芦安ファンクラブ(堀内 訓、伊井 和美)

芦安ファンクラブの皆様、夜叉神峠登山、ありがとうございました。おかげさまで有意義な時間を過ごすことができました。子どもたちも3・4年生それぞれにより思い出になったと思います。子どもたちが感想を書いたので、ご一読いただければ幸いです。

芦安小学校教頭 河野 太郎

なん日も夜叉神峠登山ができなくてくやしかったけどようやくのぼれてうれしかったです。

炭やきがまやハルゼミのぬけがらとかを教えてください、たくさんしることができてよかったです。わたしが一番心にのこっているのは、植物のことです。植物のことをたくさん教えてくださいました。ありがとうございました。名前をおぼえるのはたいへんですが、ずっとわすれないようにしたいと思います。

アセビのじゅ名板で、写真をとるときに「かわいいね!」「いいね!」と言ってくれたのでとてもうれしかったです。

ようやく、ちょうじょうについて自分のことを「がんばったー」とほめてあげました。そして、みんなで食べるおべんとうは、最高でした。

読んでくれた「一つ目こぞう」がおもしろかったし、すこし、「ぞく!」としました。

夜叉神峠登山、とても楽しかったです。もし、きかいがあればまた登りたいです。

芦安小4年 川手 しおん

マムシグサやブナなどたくさんの植物を教えてくださいありがとうございました。いっしょに登ったりしてくれてうれしかったです。3分の2にたどりつくまでがたいへんでした。石がごろごろころがっていて、登るのがたいへんだったです。大きなハウチワカエデにじゅ名板をつけてうれしかったです。そしてハウチワカエデの説明をするのが、とても楽しかったです。

一つ目こぞうのお話の12月13日に一つ目こぞうに食べられてしまうのがこわかったです。そしてきこりがたちむかうのがすごいと思いました。イワシのあたまと、バラのとげで大きな目をさすようにというのがわかってよかったです。

つかれたけど、登れてうれしかったです。いろいろ教えてくださいありがとうございました。また夜叉神峠に登りたいです。

芦安小4年 しおざわ るい

あのひのために、ゲームやかみしばいやいろいろなことをしてくれてありがとうございます。ゲームもたのしかったですし、かみしばいもおもしろかったです。すみやきがまのはなしもべんきょうになりました。あのひはいろいろおしえてくれてありがとうございました。またあのひのようにとざんがしたいです。

芦安小3年 田口 瑞起



登山届を出しました。



夜叉神峠小屋

まちにまった夜叉神峠に登れました。夜叉神峠に登ってわかったことが二つあります。

一つ目は、植物です。理由は、知らなかった植物の名前を教えてもらえて植物の説明を聞いて知らなかった事をたくさん知れてよかったです。一番心にのこっているのは、頂上に登ったことです。理由は、めちゃくちゃつかれてやっとのことで頂上についたからです。

二つ目は、夜叉峠の炭やきがまです。理由は、大きな木を切って木をかまでやいてそのやいた炭を女の人が50kgもはこぶってというのがびっくりしました。人がはいるぐらいの大きさで、たくさんの木が入るんだなと思いました。炭やきがまのことをたくさん教えてくれました。

たくさん登って、やっとのことで頂上について「つかれたー」と思いました。だけど、上まで登りきっていい気分でした。植物のことをたくさんおしえてくれてありがとうございました。

芦安小4年 飯島 陸斗



「一つ目小僧」や「夜叉神のたたり」など、いろいろなおはなしを聞きました。

とてもとざんがたのしかつたのでまたいきたいです。行った時にすみやきがまや花のことをおしえてもらってとてもうれしかったです。みんながおかしをわけてくれたのはとてもうれしかったです。そして、やすむじかんも多かったのでたくさん体力をかいふくすることができたので、のぼりやすかったです。こんど行く時があったら、おかしのおくろをもってきてみんなにくばりたいなと思ったし、下山する時につえ（木のえだ）を使っておりたので、こんど下山する時は、つえ（木のえだ）をつかわずにおりたいです。そして、けがをせずに登ると下山することができてよかったです。らいねんは樹名板をはるかわかりませんが、らいねんもしっかりと、じゅんびしてきたいです。そしてらいねんもたのしい夜叉神峠をのぼりたいです。

芦安小4年 よこもり りんと



夜叉神峠で記念写真

ビロードモウズイカ駆除作業(2023/7/30)

芦安ファンクラブ 小澤 哲也

芦安ファンクラブと市役所(産業観光部 観光推進課)およびボランティアの方々の総勢16名にて、芦安の日入倉橋から上流に向かって、ビロードモウズイカの駆除作業を実施しました。

参加者の声要約

- ・ 今後も続けてほしい
- ・ 大々的に行なってほしい
- ・ 暑さを避ければ効率・能率があがる
- ・ 情報の共有が大事

先ず、清水会長からの説明

ビロードモウズイカとは、二年生の外来植物。一本の種子から 50 倍に繁殖し、高さ 2m以上になる。芦安の景観だけでなくユネスコエコパークの観点から増えすぎを抑制する必要がある。この植物の繊毛は、皮膚のかぶれや呼吸にも影響することから、長袖・マスクを推奨。2人1組で刈ったらすぐビニール袋に入れること。ビニール袋は軽トラが回収。

一日の活動で、全てを駆除することは出来ませんでした。今後も継続して駆除作業を行なっていくことが必要です。次回(来年)は、もっと早い時期に一般のボランティアの方々を募集して、大勢で実施したいものだと感じました。

8:00～ スタート

“千野建材”の側道と、眼下の河岸の2パートで「駆除」開始。私は入倉さんとペアを組み、刈り進みました。10分もしないうちに120ℓのビニール袋が満杯。野菜を育てるより草取りのほうがきついものです。「駆除」も“ボチボチ(会長談)”しないと体がもちませんでした。



河川敷に繁殖が広がっている。

10:00～ 疲労

対岸駆除もしました。何とか川を渡れましたが、担いで川を戻るのは……。できれば対岸からビニール袋を投げ渡したい。結局、ゆっくり歩くことで無事渡り戻れました。

12:00～ 白雲荘のおにぎり弁当と桃の差し入れ

梅干しの種が抜いてある、昆布が“おかか”に代わっている等ありましたが、いつたべても白雲荘のおにぎりは「うまい」と思います。桃も硬くてうまかったです。



木陰で昼食、桃がおいしい。

～14:00 終了

午後、スタート地点から東電まで目指す計画で刈り進みましたが、あまりの暑さに中途断念。